

第19回 地域の豊かさとは

人口減少による少子高齢化は、地方の課題として重く申し掛かってきています。戦後からの人口増、高度経済成長期はすでに遠い昔のごとく、平成の時代は、失われた30年と呼ばれています。

このような中で令和の新時代を迎え、急激に世の中が変わり始めています。技術革新によるデジタル化のスピードは目を見張るものがあります。我が松崎町も、変わる社会に取り残されないよう、政治を司る必要に迫られています。

そのような社会の中で、人間にとっての幸せとは何か、考えさせられることが多くなってきました。家族や友人を失う喪失感や健康を損なう恐怖、加齢による運動機能の低下など心配が絶えません。しかし、落ち着いて周りを見渡すと、美しい自然や素晴らしい歴史文化に囲まれ、元気に地域活動を行う皆さんがいるだけで、幸せを感じることができます。人の寿命は必ず終わりが来ます。だからこそ、一日一日、目の前の時間を大切に過ごしていただきたいと思います。日本人本来の「調和」を重んじる文化を大切に、町内外の方々に対して寛容になり、真の豊かさに気付ける地域でありたいと思います。